

登録コード	HM109900	開講年度	2026				
授業題目	免疫制御学論文演習					担当教員	山条 秀樹 他
英文授業名	Thesis Seminar in Molecular and Cellular Immunology					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					免疫現象に関する最新知識を自ら収集し、理解、説明できるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	免疫学研究に関して、自らその動向を探り、自身の研究成果を公表するスキルを身につける。						
(3)授業の概要/Overview of course	医学データベースを用いて優れた免疫学関連論文を検索する能力を習得する。また、免疫制御学に関する学術論文を読み、その内容を第3者にプレゼンテーションし、質疑応答する能力を身につける。						
(4)授業計画/Course plan	(山条秀樹) 上記教員が、免疫制御学に関するテーマのなかから、その動向に興味を持たれるいくつかのトピックスをそれぞれひとつ選び、PubMedやメディカルオンラインなどのデータベースを用いて、関連文献を検索する方法について実際に作業を行わせる。各トピックスについて、代表的な文献を受講者に選ばせ、関連論文も含めた形でプレゼンテーションを準備し、両教員を含む聴衆に対して実際にプレゼンテーションを行い、内容に関して自由形式の討論を行う。基本的に毎週月曜日に実施するが、受講者自身が文献紹介を行うのは一月に一度程度とする。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	出欠と発表、討論を通じた理解度の判定。(i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	特になし。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	担当教員が随時質問を受ける。						
(8)授業の形式/Course format	教員の指導の下、実際にプレゼンテーション、討論を通じて授業を進める。						